

平成29年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	国立感染症研究所競争的研究事務経費			担当部局	国立感染症研究所		作成責任者		
事業開始年度	平成13年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	総務部会計課		飯野 賢一		
会計区分	一般会計								
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	-				
主要政策・施策	医療分野の研究開発関連、科学技術・イノベーション			主要経費	文教及び科学振興				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	競争的研究資金に係る経理について機関経理を行う。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	競争的研究資金に係る経理について機関経理を行うとともに、補助員に係る機関雇用を行う。また公的研究である厚生労働科学研究の公正性、信頼性を確保するため、利害関係が想定される企業等との関わり(利益相反)についてその管理に必要な利益相反委員会を運営する。経理事務等を機関が行うことにより、競争的研究費を適正かつ公正に管理する。								
実施方法	直接実施								
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求		
		補正予算	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
		計	32	32	33	228	0		
	執行額	32	32	33					
	執行率(%)	100%	100%	100%					
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	100%	100%	100%					
平成29・30年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由					
	試験研究費	226							
	委員等旅費	1							
	庁費	1							
	計	228	0						
	成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 -年度	目標最終年度 29年度
競争的研究資金における事務取扱について、適正に処理された割合を100%とする。		競争的研究資金の事務取扱件数のうち、適正に処理された事務取扱件数	成果実績	件	308	307	307	-	
			目標値	件	308	307	307	-	307
			達成度	%	100	100	100	-	
根拠として用いた統計・データ名(出典)	競争的研究資金の事務取扱件数集計リスト								
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標	単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込	30年度活動見込		
	競争的研究資金の事務取扱件数	活動実績	件	308	307	307	-		
		当初見込み	件	299	308	307	307		
単位当たりコスト	算出根拠	単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込			
	X執行額/Y補助金の事務取扱件数	単位当たりコスト	円	103,896	104,235	107,492	742,671		
		計算式	X/Y	32百万/308件	32百万/307件	33百万/307件	228百万円/307件		

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	施策大目標1 国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保すること										
	施策	XII-1-1 国立感染症研究所など国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保すること										
	測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 29年度	目標年度 30年度			
		国立感染症研究所における研究課題評価(毎年度実施)において3.5点以上の獲得を目指す。	実績値	点	4	4.4	4.3					
			目標値	点	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5			
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係											
	競争的研究費の機関経理業務を行うことで、厚生労働科学研究の公正性及び信頼性の確保に資するもの。											
	アクション・プログラムとの関係	改革項目	分野:	-								
		(第一階層)	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 -年度	28年度	29年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度		
			成果実績	-	-	-	-	-	-	-		
目標値			-	-	-	-	-	-	-			
達成度			%	-	-	-	-	-	-			
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係												
-												
事業所管部局による点検・改善												
国費投入の必要性	項目			評価	評価に関する説明							
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	保健医療の向上や感染症に関する研究を行うことが国立感染症研究所の責務であり、国費の投入が必要。							
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	感染症法に基づく国の責務を踏まえ実施している事業であるため。							
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	国民の健康を守るために必要な試験研究等の実施に必要な施設の維持管理であり、優先度は高い。							
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○								
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			無	機関経理業務に要するシステムについて、当該システム機能を他社により得ることができないため、競争性のない随意契約となったものである。また、システムを利用した振込業務等は、みずほ銀行を利用することとされているため、競争性のない随意契約となっているが、いずれも会計法に基づき適切に契約を行っている。							
	競争性のない随意契約となったものはないか。			有								
	受益者との負担関係は妥当であるか。			-	-							
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			○	昨年度に比べ微増したが、引き続きコスト削減に努める。							
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-	-							
費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	事業の適切な遂行について、必要な経費に限定されている。								
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-	-								
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-	-								
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。			○	少額の随意契約であっても複数社から見積書を徴収し、最低価格で購入するなど、コスト削減に努めている。								
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。			○	成果実績が成果目標に達しているため見合っている。							
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			○	事業費の9割が経理等の経費であり、経理システムの導入を行い、効率化を図っている。							
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○	活動実績は見込みに見合ったものとなっている。							
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			-	-							
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			○	当該事業は、競争的研究資金の取扱に特化した事業である。国立感染症研究所運営経費は、研究の基礎的支援業務の事業であり、競争的研究資金は扱わないため役割が異なる。							
	所管府省名	事業番号	事業名									
	厚生労働省	0865	国立感染症研究所運営経費									
点検・改善結果	点検結果	主事業費の9割が経理及び研究補助員経費であることから、システム導入等による業務の効率化、より適切な勤務時間の管理を行う事で、補助員の業務負担の軽減および雇用経費の削減を検討する。										
	改善の方向性	適切に予算を執行し、事業の目標が達成できており、このまま継続して事業を実施する。また、これまでの改善策に加えて、引き続き効率的な予算執行に努めたい。										

外部有識者の所見

行政事業レビュー推進チームの所見

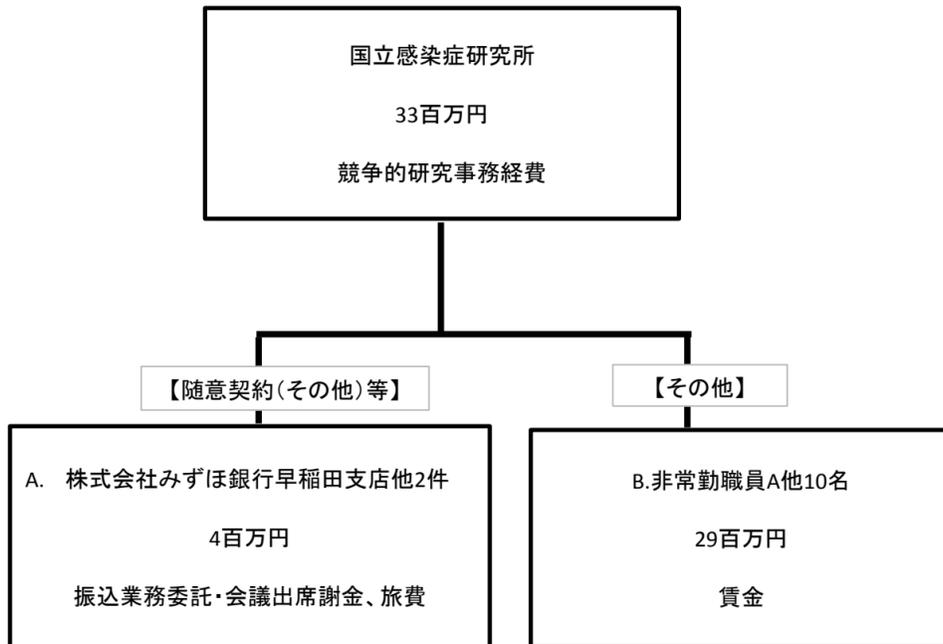
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	630	平成23年度	571	平成24年度	508		
平成25年度	890	平成26年度	890	平成27年度	900		
平成28年度	869						

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を
 しているかについて補足する)
 (単位: 百万円)

